

## 評価基準A: トレイト別・基準説明

トレイト		基準説明	
1. 目的・内容	目的 課題の達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>このライティングの目的、すなわち、課題が達成されているか (例えば、「AとBについて比較・対照し、自分の意見を述べる」 「ある意見について賛成か反対か論証し、それを大学新聞に投稿する」など)</li> </ul>	
	内容 トピック	<ul style="list-style-type: none"> <li>トピックに合った内容か</li> </ul>	
	メイン・アイディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン・アイディア(一番言いたいこと)が明確か:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体を通して一貫性があるか</li> <li>妥当性(正確さも含む)、説得力があるか</li> </ul> </li> </ul>	
	サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン・アイディアが適切にサポートされているか:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>理由、例、説明、データなどが適切で(正確さも含む)、客観性、説得力があるか</li> </ul> </li> </ul>	
2. 構成・結束性	文章全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体の構成が明確か:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「序論」(Introduction)と「本論」(Body)と「結論・まとめ」(Conclusion)に相当する部分があるか</li> <li>上記3つのバランスがとれているか(目安として、1:3~5:1)</li> <li>文章全体が論理的・意味的につながっているか</li> <li>序論と結論が呼応しているか</li> </ul> </li> </ul>	
	パラグラフ間	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラグラフとパラグラフのつながりがスムーズか:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>前後のパラグラフが意味的につながっているか</li> <li>「予告のメタ言語: まず、次に、最後に」などが効果的に使われているか</li> <li>「まとめのメタ言語: 以上述べたように」などが効果的に使われているか</li> <li>パラグラフとパラグラフをつなぐ、その他の接続表現(「しかし」「一方」など)が効果的に使われているか</li> <li>指示語(「これらの～」など)が効果的に使われているか</li> </ul> </li> </ul>	
	パラグラフ内	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラグラフ内の文と文のつながりがスムーズか:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>文と文をつなぐ接続表現(「たとえば」「しかし」「したがって」「特に」など)が効果的に使われているか</li> <li>指示語(「この～」「それらは」「その中でも」など)が効果的に使われているか</li> </ul> </li> <li>序論と結論のパラグラフが1文で終わることなく、2文以上で構成されているか</li> </ul>	
3. 読み手	配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手を意識して書かれているか (例えば、大学新聞に投稿するという課題では、その読者など)</li> <li>読み手に対する配慮があるか (例えば、読み手にはないと思われる文化的背景を説明するなど)</li> </ul>	
	面白さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手にとって興味深いか:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>創造性、オリジナリティ、新鮮さなどがあるか</li> <li>読んでいて、引き込まれるか</li> </ul> </li> </ul>	
4. 日本語 (言語能力)	A 正確さ	文法	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法が正確か:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>助詞、動詞や形容詞などの活用形、時制、アスペクト、ヴォイスなどが正確か</li> </ul> </li> </ul>
		文型・構文	<ul style="list-style-type: none"> <li>文が正確に組み立てられているか:                             <ul style="list-style-type: none"> <li>複文の主節と従節の関係や呼応関係(「なぜなら、…からである」など)が正確か</li> <li>単文の羅列や同じ文型の繰り返しではなく、多様な文型が使われているか</li> </ul> </li> </ul>
		語彙・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙・表現が正確か</li> <li>多様な表現によって、高度な表現力が示されているか</li> </ul>
		表記	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい表記(漢字・ひらがな・カタカナなど)が使えているか (PCを使用した場合の漢字の変換ミスも含む)</li> </ul>
	B 適切さ (レジスター)	文型・構文	<ul style="list-style-type: none"> <li>文脈にふさわしい構文や日本語らしい構文が使いこなせているか</li> </ul>
		語彙・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>このライティングに合った語彙・表現が適切に使われているか (「話しことば」と「書きことば」の区別ができていないか ・不適切な敬意表現がないか(例えば、「遠隔授業はどなたにとっても便利」など)</li> </ul>
		文末スタイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>「普通体」と「丁寧体」の区別ができ、文末スタイルが適切に使われ、基本的に統一されているか</li> </ul>
		表記	<ul style="list-style-type: none"> <li>句読点(、)や符号(「」)が適切に使えているか</li> <li>漢字とかながバランスよく使用されているか (例えば、「レポート」が大半「ひらがな」で書かれていないか、など)</li> </ul>

### [表の見方の補足説明]

[内容]:  
トピックに合った内容であることが前提で、次に、メイン・アイディアを見て、さらに、そのメイン・アイディアがサポートされているかどうかの順に見ていく

[構成]:  
まず、文章全体の構成、次に、パラグラフとパラグラフの関係・つながり、最後に、パラグラフ内の結束性と、全体から部分へ見ていく

・英語のパラグラフの概念を用い、「1つのパラグラフにアイディアは1つ」とする。  
・パラグラフは改行によって示される。  
・パラグラフは「形式的段落」(改行による段落)と「意味段落」が一致したものである。

・「接続表現」「指示語」の効果的な使用は、結束性を強めるための手段の1つである

・3の「読み手」では、ライティングの「内容」が読み手にとってどれくらい興味深いかを評価する。「内容」自体の妥当性、客観性、正確さなどは、1の「内容」において評価する

・評価表の基準説明に記されていることは、全て「基本的に」できているかどうかということであり、特に[A 正確さ]や[B 適切さ]において、誤りや不適切な箇所を数に問題にするものではない

・トピックや想定される読み手にとって乗らすぎる「書きことば」(例えば、終助詞、間投詞、呼びかけなど)や回すぎる「書きことば」になっっていないかという点にも意識を配る